



院長の独り言 (2016年7月20日執筆)



健康診断の季節になってきました。検査で異常値が出て、精密検査を受けてくださいと言われたとします。ここで困るのが、精密検査はどのくらいの緊急性を持っているのかということ。中には異常値になっても、医学の進歩により気にしないでスルーしていいものもあります。こあたりの見極めを行うのが産業医の仕事の一つです。

わが国では糖尿病の患者さんの数が増えています。血管は高い血糖値にさらされると、少しずつボロボロになっていき、最終的には細い動脈が詰まります。目の血管が詰まると、早い人では1週間で失明します。脳の血管が詰まると脳梗塞、心臓の血管が詰まると心筋梗塞です。場合によっては命を失うことになります。腎臓の血管がやられると慢性腎不全となり、基本的には週3回の人工透析を受けることになります。

この1年で新たに透析を始めた患者さんの原疾患では、糖尿病腎症が15,837人と最も多く、全体の43.8%に上ります。下肢の血管が詰まると切断することになります。歌手の村田英雄さんが切断したのをご存知の方も多いと思います。HbA1cが異常値でしたら、急いで栄養士に相談して食生活の改善を始めましょう。



これに対して、コレステロール値、特にLDLコレステロール値は従来60 119だったものが、男性は72 178、女性は30~44歳：61~152、45~64歳：73~183、65~80歳：84~190と大幅に上限が上がりました。コレステロール値は高い方がむしろ長生きすることがはっきりしてきたからです。健康診断に新基準が導入されるのはまだ先になるようですが、こんなに基準値が違っていると、ずいぶん多くの方がLDLコレステロール値が高すぎると指摘されて、無用な心配させられていることになります。新基準に入っている人は健康診断で異常だと言われても、差し当たりすぐには治療を考えなくてもいいと思います。

健康診断を受ける際には、注意事項を必ず守りましょう。

注意事項を守らず、過去の健康診断と違う条件で行うと

結果が経過がうやむやになり、異常値と判断されてしま

う可能性もあります。

